

2024年3月26日



農林中央金庫

PBAF (Partnership for Biodiversity Accounting Financials : 金融向け生物多様性会計パートナーシップ) への加盟について

農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下「当金庫」）は、金融セクターが生物多様性への依存度やインパクトを算出・評価する基準の標準化を目指す国際的イニシアティブである PBAF（Partnership for Biodiversity Accounting Financials : 金融向け生物多様性会計パートナーシップ）（※1）に加盟いたしました。

PBAF は 2022 年、2023 年に「PBAF 基準」のガイダンスを提示し、TNFD（※2）と連携した指標の開発などにも取り組んでいます。当金庫は、2023 年 3 月にポートフォリオにおける自然に対する依存とインパクトの分析について、初期的な開示を実施（※3）しておりますが、今回、日本の金融機関としてはじめて PBAF へ加盟することを通じて、自然関連の分析の高度化と開示の充実に取り組むとともに、自然関連の評価基準にかかるルール形成の議論に参画してまいります。

当金庫は「持てるすべてを「いのち」に向けて。ステークホルダーのみならず、農林水産業をはじめ、豊かな食とくらしの未来をつくり、持続可能な地球環境に貢献していきます」をパーパスとして掲げています。自然資本や生物多様性と強固な繋がりを持つ農林水産業を基盤とする金融機関として、ネイチャーポジティブ（※4）の実現に向けた取組みを一層推進してまいります。

以上

【ご参考】

- ※1 PBAF は 59 の金融機関が加盟し、トータルアセットは約 12.8 兆米ドル（約 1,925 兆円）に上ります。（2024 年 3 月 21 日現在）
- ※2 TNFD (<https://tnfd.global/>) は、2021 年 6 月に正式に発足した、自然関連の財務情報を開示する枠組みの開発・提供を目指す国際イニシアティブで、2023 年 9 月 18 日に開示提言の正式版（v1.0）を公表しました。TNFD 提言は企業と金融機関に、自然関連課題を特定評価、管理し、そして適切な場合は開示するためのリスク管理と開示の枠組みを提供するものです。
- ※3 詳細は以下のリンクを参照ください。
https://www.nochubank.or.jp/news/news_release/2023/post-921.html
- ※4 ネイチャーポジティブとは、自然資本・生物多様性の喪失を食い止め、回復基調に乗せることを意味します。

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 コーポレートデザイン部 広報コミュニケーション班
（宮澤・水元） Tel: 03-6362-7172